

科目名	地域整備学 Local Planning			担当教員	宮崎 耕輔		
学年	5年	学期	後期	履修条件	必修	単位数	1
分野	専門	授業形式	講義	科目番号	14134036	単位区分	履修単位
学習目標	4年時に習得した計画学基礎の知識をベースにして、下位計画となる交通計画に関する基礎知識を修得する。 香川県ならびに四国地域内におけるまちづくりに関する取り組みについて、修得する。						
進め方	前半は、教科書をベースに、スライドなどを用いて講義を行い、適宜、演習を交えながら授業を進める。 後半は、外部講師による講演を主体とし、毎回感想文を課す。						
学習内容	学習項目(時間数)			学習到達目標			
	1. はじめに(2) (1) 授業の進め方 (2) 交通計画の位置づけ (3) 四国地域をとりまく環境など 2. 交通調査と交通需要特性(4) (4) 交通調査 (5) 交通需要推計 (6) 非集計行動モデルによる交通行動の予測 3. 都市交通計画(7) (1) 都市の構造と都市交通 (2) 都市交通の諸問題 (3) 都市交通計画の内容 (4) 公共交通計画 (5) 道路交通計画 (1) 地区交通計画 [後期中間試験](2)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通量調査と交通実態調査について理解している。</li> <li>・交通需要推計について理解している。</li> <li>・都市交通計画の基本概念について理解している。</li> </ul> (B-2)「土木工学の基礎知識」			
	4. 四国地域におけるまちづくりの取り組み(15) (1) 四国地方整備局の取り組み (2) 四国運輸局の取り組み (3) 高松市における取り組み (4) 丸亀町商店街の取り組み (5) 高松市仏生山地区の取り組み (6) その他の取り組みなど			<ul style="list-style-type: none"> <li>・得られた情報を理解することができる。</li> </ul> (B-2)「土木工学の基礎知識」			
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各期の成績は、前半分の確認としての定期試験を50%、後半分のレポート(感想文等)などを50%で評価する。</li> <li>・項目2～5の重みは、それぞれ25%、25%、50%とする。</li> </ul>						
履修要件	(B-2)「土木工学の基礎知識」に関するプログラム必修科目である。 土木工学の一分野としての都市計画・地域計画を計画立案する際に必要となる基礎的技術を学ぶ。						
関連科目	計画学基礎(4年) → 地域整備学(5年)						
教材	教科書: 加藤晃, 竹内伝史: 新・都市計画概論 改訂2版, 共立出版株式会社 参考書: 大橋健一他(2009): 交通システム工学, コロナ社 飯田恭敬, 北村隆一(2008): 交通工学, オーム社 (社)交通工学研究会(2007): 道路交通技術必携, 交通工学研究会 <span style="float: right;">ほか</span>						
備考							